

いただいた御意見（８月）
市長選で建設中止を掲げた中根市長が大差で当選したのだから中止。
高齢者が集まって楽しめる施設、こどもも使えて会議室もあるもの。
市民一人一人が主人公になるもの、未来の子供につけ回さないもの。
コロナで大変な状況で、今やらないといけないか。
この事業は前市政のツケだ。実のあるものにするためにも見直す時間が必要。
P F I については、今年５月に会計検査院が１１府省の２６事業について不適切な内容を指摘している。
P F I は民間任せの丸投げで、都合が悪いことは公表されない。
一番欠落しているのは岡崎の独自性、継続性。
公的資産、公的資金をつかった民間企業の営利第一のとんでもない事業。
建物の存続期間は５０年で、事業者が責任を持つのは１５年。その後の大規模修繕など、将来に大きな負の遺産と財政負担を引きずる。
ホテル事業者が払う借地料が少なく、企業のもうけ第一。やめさせるべき。
金山の名古屋都市センターのような、まちづくりをテーマにした施設。
全国の進んだまちづくり情報を市民に伝えて、市民団体が交流できる場。
バス、電車の便が市内では一番いいところに、音出しが可能な施設を作してほしい。
遠隔の会議が全国的に広がっているのでwifi環境などを持つ部屋を考えてほしい。
中止にして、じっくりと市民の意見を聞いて考えてほしい。
行き場をなくしている中高校生も安心していける場所。
これからの世代である子供たち、お母さんも安心できる施設。
こどもたちに色々な劇をみせられるこども劇場を作してほしい。
新幹線も止まらない岡崎で国際会議をやるのは無理だ。
コンベンションホールは作らず、ゆっくり考えてほしい。
コンベンション施設は中止すること。
ホテルも中止。市の土地を借地として安く提供することを市民は聞いていない。
コロナで、市民の暮らしが大事な時に結論をあわてる必要はない。
コンベンション・ホテルは不要。若者に人気のスポーツ施設、交流センター。
大人も子供も気軽に楽しんだり活用できるスペース、城下町らしい人が集える場所
500人以上のコンベンションホールは不要
今ある木の枝を切らないでほしい。
小学生くらいの子までが遊べる川の水を引いてのアスレチックやジップライン
災害時に対応できる施設が含まれる避難場所、仮住まいできる空間
コンベンションホールN O、ホテルN O
大勢の人（大人、子供を問わず）が気楽に利用できる施設
ホテルはきっぱりやめて下さい。コンベンションはきっぱりやめて下さい。
ボードパーク、B M Xパーク。
今までの計画通りお願いします。ホテルもホールも楽しみにしています。
東岡崎駅再開発との関連で跡地利用を考えてください。安い・利用しやすい会議室が欲しいです。
市民会館のようなコンサートホール
D V被害者の保護シェルター
コンベンション施設及びホテルは中止。高齢者施設、子供の施設を作ってください。
子供の楽しめるところにしてほしい。
コンベンションホールはいらない。ホテルもいらない。
岡崎市民が楽しく集える集会所、文化、音楽施設を併設した施設
ハコモノは要らない。今ある木々大切にしてほしい。
再来年の大河に合わせてアトラクション的施設を建設（一年限定で）して、その反響も併せて、どのような施設がベストなのか、市民のみならず広く意見を求めて決めるべき
岡崎はハコモノが分散しているので上手に使いたい。本当に市民のためになるものを望む。
コンベンション以外の要望も取り入れてみんなの意見をくみ取ったようにしようとしているが結局コンベンションを何とか入れようとしているに過ぎない。奥の間は限られた人を接待する場所、一般の市民は奥の間には高い利用料で入れないのでは。
中途半端なものはいらない。そこに存在するだけでその空間の価値が高まるような、岡崎市の文化レベルが上がるような存在感のあるものを。市民の意見は大事だが、市民の生活感にべったり寄り添うものではなく、市民の文化レベルの半歩先を行くようなものを。ハコ作って終わりではなく、そこで開催するイベントも吟味を。市民の個人的な集まりだけのために多額のお金ももったいない。外部からも交通費をかけてでも行きたいと思えるイベントの誘致を。
コストコ、無料駐輪場、市営プール
駐車場付きのプール
ホテルは東岡崎の前に新しいものができたので、また作るとなると同業者どうし共倒れのような状況になるのではないか。美術館など、クルワの中に人が集まり、毎日の生活の中で活気が出てくるようにしてほしい。
子供だけではなく、大人（老人）も楽しい充実した時間を過ごせる空間
分からない
ホテルは近くのホテルの稼働率などふまえての考えなのか（あまり高稼働なイメージはない）コンベンションホールとはどういったイベントで使用するイメージなのか、稼働率がどれくらいになると試算しているか。きちんと数字出して、市民が安心できるものにしてください。
岡崎市の未来は楽しいぞと実感できる施設。岡崎城・乙川を眼下とするこの場所の歴史と自然豊かなロケーションは十分に活かした新たな文化発信を加えた場としてQRUWA計画の重要な意味を担うスポットとしたい。無意味な近代建築でなく、城下町風情を感じる和モダンな空間を。又、のんびり寝転がれる芝生広場や多目的に活用できる場の工夫も必要。施設機能としては、ひと昔前の箱物事業であってはならず、収益性は基より地域資源（観光や産業）の最大化につながるものであって欲しい。
H24年にホテルには応募者はなかったのに「コンベンションホールの施設整備や維持管理は市が費用負担するからホテルに土地を安く貸してホテルを作ってください」と提示するのはおかしい。
昨年10月に「コンベンションホールの再考」を掲げた新市長が誕生したんだから当然ホテルも白紙に戻すべき。土地（跡地）は市民のもの。市民が安く使える施設を作るべきだ。
図書館や子ども連れが気軽に立ち寄ることのできる施設
好きなことが学べる場所

いただいた御意見（８月）
多くの車が駐車できるスペースをもった施設を作ってほしい（駐車場だけでもOK）新規に作るより現在の施設で何がダメなのか洗い出してから考えてほしい。
太陽の城の再建が一番良い。
橋や施設を作り、コスパなど、費用対効果があるのでしょうか？持続可能で市民が安心して暮らすことができる方向でご検討ください。
ホテルはいらないです。コンベンションでなくて、太陽の城のように市民が使えるものにしてください。
駐車場、テントを張って直売市もできるように。雨が降ったら逃げこめるように建物を少々。（景観を考えてあまり高くないものを）
コンベンションは多くの市民のための施設ではないので中止。芝生公園、屋根付きの休憩所、子どもが遊べる遊具、建設費も維持費も少なくして市民が気軽に利用できることにする。
地上20階、地下2階建ての大会議室（人数2,000名）×10室、中会議室（人数500名）×10室、普通会議場（人数200名）×20室、最上部は展覽場として見学でき、食堂も2室つける。駐車場は地上、地下の両方として立体駐車場にして2,500台入れ、バス停（太陽の城跡駅）もおく。
様々な意見が出てくるのは良いと思うが、そもそも計画地の面積規模が竜美丘会館のそれと大差が無いことの認識が総じて低いことが気に懸る。総じて現実味を欠いた意見が多いのはそのためと思われる。
シティホテル単独では応募者がなかった経緯を踏まえると、岡崎市の観光需要ははなはだ疑問。「滞在型の観光」として都市型ホテルなど市有地を格安で定期借地権を行使しても無理。市外に流出した需要すら把握していないものが、それをあて込んだ宴会などを見込んだ稼働率を上げて信用できません。
駐車場があること。地中海のように明るく子育てで岡崎でしてよかったという場所を！！乙川へのアクセスもできて、川とこの場所で両方遊べるとベスト！！
絶対箱物はいらない
太陽の城跡地に、すぐに何かを創らねばならないということは全くない。複合的な八方美人の計画は最良のものにはならない。外部からの大量の人を受け入れることを目指すより市民の暮らし、文化、教育を作り出すべき。
子どもから老人までの幅広い年齢層が気軽に利用できる総合施設。雨天時でもイベント、子どもが遊べる場所など。ホテルは100%民間で、税金は使わない。
SDGsに関する展示やディスカッション、女性、男性のための施設にすることを提案します。正直ホールなどは今の岡崎にこれ以上必要ないかなと思っています。
市民が日常的に親睦を深めたり、学んだり、芸術を楽しめる市民の為の施設を作ってください。
コンベンション施設は不用。
ホテル、コンベンションセンター、絶対×
自習室を豊富に完備した図書館にしてほしい。
事業の方向性のイメージは良いと思う。出来ればオーケストラ（40～50人位）で練習の場が欲しい。
中・高生の自習室を多く備えた図書館にしてほしい。静かな環境で勉強に集中できる場所にしてほしい。
事業はそれなりに価値はあると思います。
（現行計画は）高額な建設費、高額な維持費、高額な利用料で市民が使える施設ではない。
豪華な施設を市民は望んでいない。
（現行計画は）毎年2.6億円を払って、経済効果が4.6億円で効率が悪い。
岡崎市の観光消費額が1年で380億円に対し、コンベンションの経済効果は4.6億円で過ぎず、わずか1.2パーセント。それでもやるのか。
ホテルの誘致を決定として覆さないことは問題。
事業者との中止協議を直ちに再開し、中止すること。
多くの市民が気軽に使える施設、場所。
コロナ禍で働き方やイベントの在り方も変化しているので、見極めるには時間が必要。
PFIは問題も指摘されている。市直営よりもいいのか検討が必要。
土間は、旧来の封建社会を表すもので、市民が立ち入れないイメージを持つ。
リビングルームのように市民誰もが平等に使える施設。
木々の豊かな自然の中で子どもたちが遊ぶ空間。
岡崎の水と歴史といい風の吹く街を感じる施設。
子どもたちが喜んで育つ場所。
りぶら、城、川と結び付ければ、豊かな自然をいかした散歩できる庭園になる。
12月にまとめるというのでは市民参加はできない。
家康の歴史は魅力。学習と結びつけた岡崎の歴史という観光の展開もできる。
名古屋のホテルの建設ラッシュも半分くらいは立ち消え。ホテルそのものも厳しい。
きっぱり見直して、新しく意見聴取すればもっといいものにまとまる。
岡崎は駅が二つあって、新幹線が通っていないので、地方都市型の計画が必要。
狭く、車で人を集めることも難しいため、市中心部で何かをやるのは難しい。
ゆっくり決めても十分に間に合う。
シティホテルの需要はあるのか。だから民間は手を出さない。
20年前に作られた中心市街地の施策は古い。作り変えるべき。
PFIは後年度負担で費用が増えていく。直営で運営をしたほうがいい。
刈谷にできた児童館のような施設を作った方がいい。
全天候型の施設は市内にないので賛成。
集まれて、文化的な行事をやる場所が欲しい。
ここに暮らす人々の文化、健康、暮らしを大事にして新しい文化を創り出すことを考えていくべき。
市民参加を呼び掛け、期限を切らずに進めるべき。
外から入ってくる人に頼る観光ではなくて、岡崎に触れようとする人たちに新しいものを提供する方策。
今はとにかく、コンベンションを中止し、どうするかを考える時間にしてほしい。
ホテルが敷地の西側だと、施設にきた人が花火を見にくい。
中止して考えた方がいい。
コロナでお金もないのだからあと3年くらいはじっくり考えなおしてほしい。
ホテルのような高い建物は敷地の東側がいい。
芝生広場を作るなら、現在ある公園に桜も木もあるので、そこを広場にする。

いただいた御意見（８月）
工事の音、ほごりなど、マンションの１００人以上の住民のことも考えて建物を建ててほしい。
木をあれ以上伐採しないで、緑を残してほしい。
人を集める起爆剤となれば県外からも来るので、防犯対策を。
乙川の氾濫が感じられないように安心に留意を。
開発すると雨水がしみこまなくなるので貯水槽など対応を。
たまってしまうと水が抜けない構造の場所なので考慮を。
幼稚園の子や保育園の子が遊ぶ場が残るのはいい。
車が抜け道的に生活区域にこれ以上流れるのは嫌だ。
人の流れのためにコンベンションホールがいるのか。東岡崎駅のビルの上に作ったほうが利便性がいい。
雨の日に子供が遊べる場所を作っても利用は少ない。税金を投入してまでやる事業が疑問だ。
岡崎にはホールや施設はいっぱいあるので再利用して各地区の利便性を上げたほうがいい。
新幹線がなく、駅もないところにホテルなどいるのか。
コンベンション利用者の宿泊は、実際コロナで厳しい。
１２０台の車が入ってくると生活はどうなるか。殿橋の右折車線とか堤防道路２車線化とか、周りをきちんと整備してからの方がいい。
殿橋南詰の交差点は、北からの右折をできないようにした方がいい。
殿橋南詰の交差点は、北から右折できないと困る。
西三事務所の駐車場を退避所として県と調整ができれば、ここに駐車場はいらない。
買い物をするところで困っているからスーパーはどうか。
景観を楽しむのに、高い建物を建てると、生活道路や橋の上など見えてところに人が流れてしまう。
生活空間に人が流れてこないようにつくってほしい。
既存施設でいいものがあるので、新しい箱は必要ない。
プラネタリウムは夢があるから欲しい。
ホテル、コンベンション施設の建築に賛成。岡崎公園周辺の発展を促進してほしい。
コロナ下でもソーシャルディスタンスを確保できる施設。
現状は廃材処理場、空きビル、空き地となっており、騒音粉塵雑草の元凶となっているので、有効活用を早く実現してほしい。
イオンを作りたい
遊園地みたいなテーマパーク
アウトドアとインドアを繋ぐ土間のイメージは非常に良い。岡崎城とのバランスを考え、和モダンな建物が良い。
多くの人が集まる場所ができることは、岡崎を知ってもらう機会に繋がり、経済効果が必ず見込まれる。
人口の多い岡崎市では会場さえあれば、イベント開催の候補地としてあがるのでは。
くるわ戦略と組み合わせ、ビジネスユースだけではなく、市民の為の様々なイベントを行える会場とし、コンベンションホールの周りの商店や飲食店へ与える経済効果を考えるべき。
東岡崎駅より繋がる大型コンベンションホールをつくり、イベントや各事業が開催出来ると良い。さらには、桜の城橋にも繋げて、地域の導線をつくると良い。
できるだけ幅広い人が集まることのできる施設はよい。ホールの屋上に芝生(のような)広場があったりオープンカフェがあったりするとよいのではないかな。
都市圏には、主要な駅の近辺にコンベンションホールがあるので作ってほしい。中央総合公園までは遠いし交通の便が悪い。
自然科学研究機構には優れた研究者が多くおり、学会や研究会等の学術会議は小さなもの(100人程度)は同機構内で行われているが、それ以上の会議体は実施されていない。今回のコンベンションができることで、もう少し大きな学会が誘致できる。中規模の学会は2000人規模なので、可能であれば2000人規模のコンベンションがあると、より大きな効果が得られる。
岡崎市の迎賓館のような存在にすると良い。大きな会議施設やパーティスペースは必須。
コンベンションホールの建設は必須。自然を感じられるような、地域、周辺環境との融合ができるコンベンション施設の建設を強く望みます。
コロナ収束を予定して、いろいろなイベントのできる市民会館の小規模版。
桜を見ながら食べられるオトリバーのようなグルメ。
岡崎には、コンベンションホールが無いので、是非作って欲しい。宿泊施設も足りない。
土間って、結局内と外がひとつながりになっていることだとすれば、乙川とあわせて楽しそう。
QURUWAに民間施設しての目玉がほしい
岡崎市内の市民・企業が利用しやすい施設であればよい。
施設建設は賛成だが、岡崎市内の利用者を増やしたり、岡崎市内企業に仕事が回ってくる方法を考えると、税收や雇用にプラスに生じるので、市民・市内企業が良くなる計画を立てていただきたい。
地元の木材の内装・外装・椅子・机など、とにかく地元産にこだわって建築して欲しい。
コンベンションセンターを建設するにしても会議など無い時は市民が気軽に立ち寄り利用できる空間にして欲しい。自然食レストランなどがあると嬉しい。
既存の施設では代替の出来ない、特別なオンリーワンの機能を有した施設でないと、新たに建設する意義は少ない。
最低限、名古屋鉄道東岡崎駅舎の大規模改修を前提として、周辺全体の再開発を進めるべき。東岡崎駅周辺再開発事業の中核を担う機能を有した施設の建設を望みます。
コンベンションセンターに賛成です。
コンベンションホールとホテル、市民が集まれる以前の太陽の城のような施設も併設。
コロナ禍となり人流を抑制して非対面が普通となる世の中になり本当にそのような施設が今後において必要なかを考える必要がある。コンベンションホール建設は今決まなくてもいい。アフターコロナがどのような世の中になるのかわからないからこそ、次回の市長選において再度市民に問い建設するのか、それとも廃止するのかを決めるべき。
市民も多いに活用できる、コンベンションホール
日曜日もやっている、室内でも体を動かせる固定遊具を置いて欲しい。
小さい子どもから小学生までが楽しめる施設。中高生が勉強会できる空間。
コンベンションホールは反対。市民の税金を使わず、シンプルに作って欲しい。
岡崎市で何かやりたくとも決め手にかかる事が多い。「事業でも岡崎市」という印象を与え、技術力のある企業が集まることのできるコンベンション施設に期待する。
岡崎に大きな集客施設もホテルもなく、数年後の大河ドラマの時の観光増加に間に合わず、チャンスを逃している。
中途半端な建物ではなく、河川の自然風景も上手く利用した、今の岡崎市にはない規模のものを期待します。
コンサートやダンスなどの市民の皆さんの、発表の場になると良いと思います。
コンベンションホールがほしいです。必要だと懇願していっちゃう方がたくさんいます。

いただいた御意見（８月）
この位置に設置する事で効果を発揮するもの、賑わいを誘発できるものということで、従来の計画通り、宿泊施設を備えたコンベンション施設が望ましいと考えます。
将来の岡崎市の為に今、投資すべき。目の前の賛否で議論するべきではない。
国際会議やイベントのレセプションに使用できるコンベンションホール。海外からのお客様をおもてなし出来るホテル。
土間のような機能を持つイメージは賛成です。大規模会議から小規模市民団体までが使い、河川敷エリアは市民や観光客が利用できる商業施設を希望。子供の一時預かり施設も検討下さい。
岡崎市にはまだ観光都市としてはイマイチ。まずはシンポジウム&ミニ観光にて岡崎市の魅力を周知する必要がある、このためのコンベンションホールの整備は不可欠。
コンベンションホールを整備しないのならば、観光都市としての取り組みは全て無駄になる。目先の事ではなく、先を見据えた上でコンベンションホール以外考えられない。
岡崎市には必要と思います。
コンベンション機能は必要です。日常にも使えて、いざとなったらレセプションもできる。そのような施設が必要です。
イオンにはないハイブランドのショップや有名飲食店がありつつ、大きな会合が開けるコンベンションも併設するようなモノが好ましいです。
普段は岡崎及び近隣の市から来客で賑わい、コンベンションがある時は、また別の多くの人が集まる状況が良いかと思います。
アウトドアであり、インドアであるというところはいいとおもいます。是非よろしく願います。
いいと思います。岡崎市のシンボルとなるようなものになることを期待してます。
非常に良いと考えます。現状維持には常に変化が必要です。
安城にあるような、プラネタリウムが岡崎にもあればと思います。
岡崎市にプラネタリウムまたは、科学館を設置し、未来の活躍する科学者を育てたい。
プラネタリウム
このコロナの時代にコンベンションホールは本当にいらない。大企業に勤めているが会社のホール等ほとんど使用してない。
箱物であればトランポリンやボルダリング等の室内競技が気軽に楽しめる施設、又はオペラ座のようなインスタ映えし音響の良いコンサートホール。普通の建物では人は来ないので、隈さんのような有名な建築家をお願いして欲しい。
騒音、健康障害、交通事故など、駐車場が原因で発生した場合、どのように責任を取られるのか、明確にしてから計画を進めてください。近隣住民の生活を犠牲にしないでください。
「福祉にはもったいない」のは、なぜ？福祉に携わっている人間からみるとかなり違和感です。
太陽の城跡地には、年中利用可能な魅力的なプールの復活を取り入れてほしい。毎年来るリピーターができるので、岡崎名物やQURUWAも上手に取り入れて、ナイトプールで若い人、プールの上手い活用で高齢者や障がいのある方もきっと来てくれる。
会議室やホールはリブラやコロネットで十分。ホテルはいらん。ビジネス、観光で岡崎に来る人が急に増えることはない。
炎天下や雨天でも子どもが安心して過ごせる施設。
子供のためのスペースが欲しいとの声に答えるようとする姿勢は理解できますが、岡崎市内の他の施設との差別化が必要。
一極集中型開発ではなく、市内の既存施設との融合を望みます。
岡崎市は文化的な施設が大変貧弱である。太陽の城の跡地には、1 2 0 0人以上収容できるホール、または、中学・高校生が演劇・吹奏楽・合唱の練習、大会の会場として利用できるよう施設を作っていただきたい。
プラネタリウム。東公園の恐竜と共に、子供達の知的好奇心とロマンを刺激できる施設を望みます。
観光客がQURUWAエリアで一日中過ごせるようにできると、魅力的な観光地になるのでは。とくにQURUWAエリアは徒歩か自転車（レンタサイクル）の移動が主になると思うので、観光客の休憩所はあっていいと思う。
東海オンエアが動画内で作った制作品（濾過装置とか？）や使った小物などを展示させてもらうなど、岡崎でしか見れない物を見て喜んで欲しい。
土間のイメージは言い得て妙。岡崎公園と東岡崎駅の最短経路上に観光の場、寛ぎの場が出来ることで地域のますますの活性化が図れる。入ってすぐに吹き抜けのような空間があると良い。
ハコモノは要らない。
演劇に特化した箱がいい
コンベンションセンターに必要性を感じない。他の施設で十分。民間ですらやらない事に市が手を出してうまく行くわけがないので宿泊施設やレストランなどには反対する。
地元の人が集まり将棋等で遊べる憩いの場があればいい。
コンベンションセンターは不要。新型コロナの影響も踏まえて第三者専門家による需要予測が必要。竜美丘会館の運用見直しやリノベーションなど複数案を検討すべき。
駐車場スペースも1,000人規模の集会には不足。
土間は中心部への玄関口としてイメージが暗くて悪い。風水でも凶。
失われたままの児童館、郷土館の機能、市の歴史、文化、産業などを学ぶ施設、文教都市にふさわしい科学館等の設置について議論があるべき。結論を急ぐべきではない。
乙川リバーフロント、QURUWAの周遊ルートに位置しており、人が集まる施設を作って欲しい
自然豊かな景観（資源）を活かひ、お城や川が一望できる階段状のパブリックスペースを設ける。木造3層程度（高さ）の城下町風情の建物構成で、多目的な庭（パーク）要素は組み込むべき。
エリアマネジメント上、どんな複合施設を図ればウォカブルが成立するかを整理した方が良い。多くの利用者の新たな体験価値を想像すべき。収益を見据えた事業性・サステナブル視点も大事。
太陽の城跡地 P J は、戦略の西の拠点としてとても重要。これまでの80億円投資プランは、残念ながら市民ファーストを感じませんし、市の潤い及び近隣都市への波及効果も感じません。
プラネタリウムや科学館など子供たちが科学を学ぶ施設を整備してください。
ホテルやコンベンションホールは必要ない。子供が遊べる室内型の施設が欲しい。
徳川家康の歴史、自然科学研究機構の科学を取り入れた内容のプラネタリウムがあるとすてき。
岡崎にもぜひ科学館があるといい。
プラネタリウムを併設した科学館など、子供が科学を体験できたり、学べたりできる施設がほしい。
大学が良いと思います。東岡崎駅、リブラが近く、康生町あたりの空き家等をリフォームして大学の寮としても使えば、空き家対策にもなる。若い人が集まれば必然的にあの辺り一帯の活性化に繋がるのでは。
コンベンション建設は人の流れを作り、商業の発展へと繋げるための方法として良い計画であり、岡崎市にとって有意義な事。
岡崎市全体の今後の発展を願うのであれば、新たな施設を作り、人の流れを遮らない道を築くべき。
1,000人規模の利用可能なコンベンション施設は必要です！
周辺の環境と調和した施設